

第1回 高知地方会 活動報告

開催日：平成28年9月3日（土） 14:00～17:00

会場：サンピアセリーズ

「医師事務作業補助者に期待すること、求められること」

平成28年9月3日サンピアにおいて第1回高知地方会を開催致しました。

台風の影響があると心配しておりましたが、問題もなく当日を迎えることができました。

満員の100名の方々にご参加いただき、盛会に終わりました。

特別講演1：「診療の効率化に期待される医師事務作業補助者の役割」

金沢脳神経外科病院 院長 佐藤 秀次先生

佐藤院長より「診療の効率化に期待される医師事務作業補助者の役割」と題して講演をしていただきました。

「DPC導入に伴う在院日数短縮などにより医師の事務的業務は増加し、本来の業務に専念できなくなっている。医師事務作業補助者が代行業務+診療支援に携わることによって、医師の負担を軽減し業務に専念することができ、医療の質向上に繋がっている。

今後、医師より私たちに期待されるのは医療の効率化への貢献である。コミュニケーションスキル、医学知識、正確性、文章作成の基本能力、パーソナリティなど幅広い能力や資質が求められており、医師事務作業補助者は医療現場の coordinator である。」とご講演頂きました。



特別講演2：「医師事務作業補助者のこれまでと未来」

NPO 法人日本医師事務作業補助研究会 理事長 矢口 智子

矢口理事長より「医師事務作業補助者のこれまでと未来」と題して講演をしていただきました。「私たち医師事務作業補助者は、勤務医の負担軽減を目的にできた職種である。医師事務作業補助者の介入により、患者と関わる時間が増え、医療の質向上に繋がっている。今後の課題として、キャリアパス・雇用・教育体制があげられ、標準化を行うことが大切である。」とご講演頂きました。



【シンポジウム】

「医師事務作業補助者に期待すること、求められること」

近森病院の和田有紀子さん、細木病院の門田美紀さんより自院で行っている業務紹介や医師事務作業補助者に求められる能力、課題について発表していただきました。また質疑応答では「サマリーは医師事務作業補助者に依頼した方が良いか?」「外来補助業務を始めたが、診療時間が短縮されない場合どうすれば良いか?」「チームカンファレンスを行う頻度は?」「外来に医師事務作業補助者が配置されている場合、看護師は必要か?」など多様な意見が出ました。



地方会を通じて

地方会終了後のアンケートでは「医師からみた、医師事務作業補助者の役割を知ることができた」「他科、他院の業務知れて良かった」など有難い感想をいただきました。

これを機会に、更なるレベルアップをはかることをめざし、医師事務作業補助者の発展に繋がればよいと思います。

最後になりますが、地方会にご参加いただきました皆さま、開催にご協力いただきました関係者のみなさまに、心より感謝申し上げます。

以上で活動報告と致します。

報告者：細木病院 和田 唯華

